

平成28年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 28年 8月 ～ 28年10月)

1. 被験物質 (処理区 A)

- (1) 一般名・剤型 ①イソフラグジン酢酸塩(ホリベリン水和剤)、②シハロリン(サイハロン乳剤)、③ジフェノコナゾール(スプラ顆粒水和剤)、④トフロトリン(スカトロフロアブル)、⑤シベルメトリン(アグロスリン乳剤)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①イソフラグジン酢酸塩: 5.0%、②シハロリン: 5.0%、③ジフェノコナゾール: 10.0%、④トフロトリン: 1.4%、⑤シベルメトリン: 6.0%
- (3) 被験物質のLot No. ①18.10 D5E04、②19.10 A5K03、③18.10 SIK41WG073、④18.10HDL-02SN、⑤19.10 A6C02

被験物質 (処理区 B)

- (1) 一般名・剤型 ⑥エマメクチン安息香酸塩(アファーム乳剤)、⑦フェンビロキシメト(タニトロンフロアブル)、⑧カスカマイシン(カスミボルト)、⑨DBEDC(シンコール)、⑩マラソン(マラソン乳剤)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ⑥エマメクチン安息香酸塩: 1.0%、⑦フェンビロキシメト: 5.0%、⑧カスカマイシン: 5.7%、⑨DBEDC: 20.0%、⑩マラソン: 50.0%
- (3) 被験物質のLot No. ⑥18.10 5512N、⑦18.10 C5H05、⑧18.10-HI401Y、⑨20.10 11333、⑩18.10-NG510Z

被験物質 (処理区 C)

- (1) 一般名・剤型 ⑪ジチアノン(テラント水和剤)、⑫有機銅(トキリンフロアブル)、⑬ビフェナゼート(マイトコーネフロアブル)、⑭フルベンジアミト(フェニックス顆粒水和剤)、⑮チアクロプリド(バリアード顆粒水和剤)、⑯アバメクチン(アバメック)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ⑪ジチアノン: 50.0%、⑫有機銅: 35.0%、⑬ビフェナゼート: 20.0%、⑭フルベンジアミト: 20.0%、⑮チアクロプリド: 30.0%、⑯アバメクチン: 1.8%
- (3) 被験物質のLot No. ⑪18.10 SDJ-01G、⑫17.10 A5D10、⑬20.10-0EK010、⑭19.10 S5B25、⑮19.10 PD15M00001、⑯17.10.14Y13

被験物質 (処理区 D)

- (1) 一般名・剤型 ⑰TPN(ダコニール1000)、⑱キノキサリン系(モレスタン水和剤)、⑲フルバリネート(マフリック水和剤20)、⑳ホリキシン複合体(ホリキシンAL水溶液)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ⑰TPN: 40.0%、⑱キノキサリン系: 25.0%、⑲フルバリネート: 20.0%、⑳ホリキシン複合体: 50.0%
- (3) 被験物質のLot No. ⑰1EJF0S、⑱19-10 05024、⑲17.10 D4B02、⑳421

被験物質 (処理区 E)

- (1) 一般名・剤型 ㉑クロルフルアスロン(アタフロン乳剤)、㉒キャブタン(オーノサイト水和剤80)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ㉑クロルフルアスロン: 5.0%、㉒キャブタン: 80.0%
- (3) 被験物質のLot No. ㉑019540、㉒20.10-HC618X

被験物質 (処理区 F)

- (1) 一般名・剤型 ㉓ジフルベンスロン(デミリン水和剤)、㉔マンゼブ(ジマンダイトン水和剤)、㉕シルベメクチン(コママイト乳剤)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ㉓ジフルベンスロン: 23.5%、㉔マンゼブ: 80.0%、㉕シルベメクチン: 1.0%
- (3) 被験物質のLot No. ㉓19-10 05003、㉔20.10 5K11、㉕18.10 48U80023

2. 農作物名 すいか

品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、坂田原 誠克、高芝 和明、内藤 寛、小川 和己、谷山 頼清、有波 友紀、島崎 祐樹、高田 正司

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土(植壤土)・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません) 別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・イチゴ栽培の被覆時期を記載する
別紙に記載。

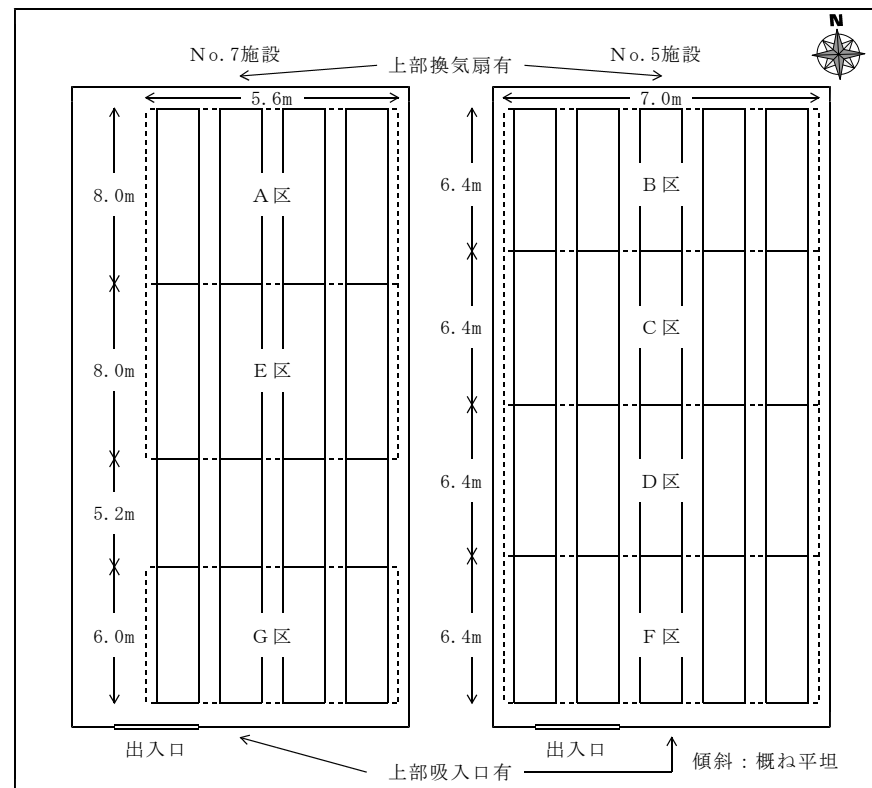
8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ - を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません) 別紙に記載。

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A、B、C、D、E、F 各区: 44.8㎡(5.6m×8.0m)、80株 無処理区G: 33.6㎡(5.6m×6.0m)、60株
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 225㎡, 容積: 680㎡, 高さ: 3.4m
- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C、D区	E、F区	G 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 9月20日	④、⑤				無処理	④2000倍、⑤1000倍	279L	④6.3mL、⑤12.5mL/12.5L/44.8m ²	果実肥大期	茎葉散布
9月26日	①、④、⑤					①1000倍、④2000倍、⑤1000倍	279L	①12.5g、④6.3mL、⑤12.5mL/12.5L/44.8m ²	果実肥大期	茎葉散布
10月 3日	①、③、④、⑤					①1000倍、③2000倍、④2000倍、⑤1000倍	279L	①12.5g、③6.3g、④6.3mL、⑤12.5mL/12.5L/44.8m ²	成熟期	茎葉散布
10月11日	①、③、④、⑤					①1000倍、③2000倍、④2000倍、⑤1000倍	279L	①12.5g、③6.3g、④6.3mL、⑤12.5mL/12.5L/44.8m ²	成熟期	茎葉散布
10月17日	①、②、③、④、⑤					①1000倍、②2500倍、③2000倍、④2000倍、⑤1000倍	279L	①12.5g、②5.0mL、③6.3g、④6.3mL、⑤12.5mL/12.5L/44.8m ²	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						①イミダクジン酢酸塩(ホリヘリン水和剤)				
月 日						②シハロリン(サイハロン乳剤)				
月 日						③ジフェノコナゾール(スコア顆粒水和剤)				
月 日						④トラロメトリン(スカウトフロアブル)				
月 日						⑤シベルメトリン(アクロスリン乳剤)				
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 9月20日	背負式動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li、動力源:バッテリー)にキョウカコーンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。	処理開始時刻;16:20	処理時の天候:曇	当日の天候:晴れのち曇	風の影響はなし
9月26日		処理開始時刻;15:20	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
10月 3日		処理開始時刻;16:20	処理時の天候:雨	当日の天候:曇のち雨	風の影響はなし
10月11日		処理開始時刻;15:55	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
10月17日		処理開始時刻;16:45	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C、D区	E、F区	G 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 9月12日		⑩			無処理	⑩1000倍	279L	⑩12.5mL/12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月20日		⑧、⑩				⑧1000倍、⑩1000倍	279L	⑧12.5g、⑩12.5mL/12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月26日		⑧、⑨、⑩				⑧1000倍、⑨500倍、⑩1000倍	279L	⑧12.5g、⑨25.0mL、⑩12.5mL/12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 3日		⑥、⑦、⑧ ⑨、⑩				⑥1000倍、⑦1000倍、⑧1000倍、 ⑨500倍、⑩1000倍	279L	⑥12.5mL、⑦12.5mL、⑧12.5g、 ⑨25.0mL、⑩12.5mL/12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月11日		⑥、⑦、⑧ ⑨、⑩				⑥1000倍、⑦1000倍、⑧1000倍、 ⑨500倍、⑩1000倍	279L	⑥12.5mL、⑦12.5mL、⑧12.5g、 ⑨25.0mL、⑩12.5mL/12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月17日		⑥、⑦、⑧ ⑨、⑩				⑥1000倍、⑦1000倍、⑧1000倍、 ⑨500倍、⑩1000倍	279L	⑥12.5mL、⑦12.5mL、⑧12.5g、 ⑨25.0mL、⑩12.5mL/12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
月 日						⑥エマメクチン安息香酸塩(アファム乳剤) ⑦フェンピロキシメート(タニトロンフロアフル) ⑧カスカマイシン(カスミンホルトロー) ⑨DBEDC(サンヨール) ⑩マラソン(マラソン乳剤)				
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 9月12日	背負式動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li、動力源:バッテリー)にキョウカコーンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻;15:15	処理時の天候:曇	当日の天候:曇	風の影響はなし
9月20日			処理開始時刻;16:20	処理時の天候:曇	当日の天候:晴れのち曇	風の影響はなし
9月26日			処理開始時刻;15:20	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
10月 3日			処理開始時刻;16:25	処理時の天候:雨	当日の天候:曇のち雨	風の影響はなし
10月11日			処理開始時刻;15:55	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
10月17日			処理開始時刻;16:25	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A、B区	C区	D区	E、F区	G区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 9月20日		⑪、⑫				⑪700倍、⑫500倍	277L	⑪17.7g、⑫24.8mL/12.4L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月26日		⑪、⑫				⑪700倍、⑫500倍	277L	⑪17.7g、⑫24.8mL/12.4L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 3日		⑪、⑫、 ⑬、⑭				⑪700倍、⑫500倍、⑬2000倍、 ⑭500倍	277L	⑪17.7g、⑫24.8mL、⑬6.2g、 ⑭24.8mL/12.4L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月11日		⑪、⑫、⑬、 ⑭、⑯				⑪700倍、⑫500倍、⑬2000倍、 ⑭500倍	277L	⑪17.7g、⑫24.8mL、⑬6.2g、 ⑭6.2g、⑯24.8mL/12.4L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月17日		⑪、⑫、⑬、 ⑭、⑯、⑰				⑪700倍、⑫500倍、⑬1000倍、 ⑭2000倍、⑯2000倍、⑰500倍	277L	⑪17.7g、⑫24.8mL、⑬12.4mL、⑭6.2g、 ⑯6.2g、⑰24.8mL/12.4L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日										
月 日						⑪ジチアノン(テランT水和剤) ⑫有機銅(トキリンフロアブル) ⑬ビフェナゼート(マイトコネフロアブル) ⑭フルベンジアミド(フェニックス顆粒水和剤) ⑮チアクロプリト(ハリアート顆粒水和剤) ⑯アバメクチン(アグリメック)				
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
			処理開始時刻	処理時の天候	当日の天候	風の影響
H28年 9月20日	背負式動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li、動力源:バッテリー)にキョウカコーンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻;16:20	処理時の天候:曇	当日の天候:晴れのち曇	風の影響はなし
9月26日			処理開始時刻;15:20	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
10月 3日			処理開始時刻;16:25	処理時の天候:雨	当日の天候:曇のち雨	風の影響はなし
10月11日			処理開始時刻;15:55	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
10月17日			処理開始時刻;16:45	処理時の天候:晴れ	当日の天候:晴れ	風の影響はなし
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A、B区	C区	D区	E、F区	G区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 9月20日			⑰、⑱、⑳		無処理	⑰700倍、⑱2000倍、⑳1000倍	279L	⑰17.9mL、⑱6.3g、⑳12.5g /12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月26日			⑰、⑱、⑳			⑰700倍、⑱2000倍、⑳1000倍	279L	⑰17.9mL、⑱6.3g、⑳12.5g /12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 3日			⑰、⑱、⑳			⑰700倍、⑱2000倍、⑳1000倍	279L	⑰17.9mL、⑱6.3g、⑳12.5g /12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月 8日			⑰、⑱、 ⑲、⑳			⑰700倍、⑱2000倍、⑲2000倍、 ⑳1000倍	279L	⑰17.9mL、⑱6.3g、⑲6.3g、 ⑳12.5g/12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月13日			⑰、⑱、 ⑲、⑳			⑰700倍、⑱2000倍、⑲2000倍、 ⑳1000倍	279L	⑰17.9mL、⑱6.3g、⑲6.3g、 ⑳12.5g/12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						⑰TPN(タコニール1000)				
月 日						⑱キノキサリン系(モレスタン水和剤)				
月 日						⑲フルバクシネート(マブク水和剤20)				
月 日						⑳ホリオキシ複合体(ホリオキシAL水溶剤)				
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 9月20日	背負式動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li、動力源：バッテリー)にキョウカコーンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。	処理開始時刻；17：20	処理時の天候：曇	当日の天候：晴れのち曇	風の影響はなし
9月26日		処理開始時刻；16：00	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ	風の影響はなし
10月 3日		処理開始時刻；17：15	処理時の天候：雨	当日の天候：曇のち雨	風の影響はなし
10月 8日		処理開始時刻；10：55	処理時の天候：曇	当日の天候：晴れ	風の影響はなし
10月13日		処理開始時刻；17：05	処理時の天候：曇	当日の天候：晴れ	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1.1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A、B区	C、D区	E区	F区	G区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 9月 5日			㊸		無処理	㊸400倍	250L	㊸28.0g/11.2L/44.8㎡	開花結実期	茎葉散布
9月12日			㊸			㊸400倍	279L	㊸31.3g/12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月20日			㊸、㊹			㊸2000倍、㊸400倍	279L	㊸6.3mL、㊸31.3g/12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月26日			㊸、㊹			㊸2000倍、㊸400倍	279L	㊸6.3mL、㊸31.3g/12.5L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 3日			㊸、㊹			㊸2000倍、㊸400倍	279L	㊸6.3mL、㊸31.3g/12.5L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						㊸クロルフルアスロン(アタフロン乳剤) ㊹キャブタン(オゾサイト水和剤80)				
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 9月 5日	背負式動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li、動力源：バッテリー)にキョウカコーンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。	処理開始時刻；17：20	処理時の天候：雨	当日の天候：曇のち雨	風の影響はなし
9月12日		処理開始時刻；15：15	処理時の天候：曇	当日の天候：曇	風の影響はなし
9月20日		処理開始時刻；17：20	処理時の天候：曇	当日の天候：晴れのち曇	風の影響はなし
9月26日		処理開始時刻；16：30	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ	風の影響はなし
10月 3日		処理開始時刻；17：05	処理時の天候：雨	当日の天候：曇	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A、B区	C、D区	E区	F区	G区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 8月29日				②	無処理	②400倍	221L	②24.8g/9.9L/44.8㎡	茎葉生長期	茎葉散布
9月 5日				②		②400倍	250L	②28.0g/11.2L/44.8㎡	開花結実期	茎葉散布
9月12日				②		②400倍	277L	②31.0g/12.4L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月20日				②		②400倍	277L	②31.0g/12.4L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
9月26日				③、④		③1000倍、④400倍	277L	③12.4g、④31.0g/12.4L/44.8㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 3日				③、④、⑤		③1000倍、④400倍、⑤1000倍	277L	③12.4g、④31.0g、⑤12.4mL/12.4L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
10月 8日				③、④、⑤		③1000倍、④400倍、⑤1000倍	277L	③12.4g、④31.0g、⑤12.4mL/12.4L/44.8㎡	成熟期	茎葉散布
月 日						③ジフルベンスロン(デミリン水和剤) ④マンゼブ(ジマンタイセン水和剤) ⑤ミルベメクチン(コロマイト乳剤)				
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
			処理開始時刻	処理時の天候	当日の天候	風の影響
H28年 8月29日	背負式動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li、動力源：バッテリー)にキョウカクコンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻；17：15	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ	風の影響はなし
9月 5日			処理開始時刻；17：20	処理時の天候：雨	当日の天候：曇のち雨	風の影響はなし
9月12日			処理開始時刻；15：15	処理時の天候：曇	当日の天候：曇	風の影響はなし
9月20日			処理開始時刻；17：20	処理時の天候：曇	当日の天候：晴れのち曇	風の影響はなし
9月26日			処理開始時刻；16：00	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ	風の影響はなし
10月 3日			処理開始時刻；17：05	処理時の天候：雨	当日の天候：曇のち雨	風の影響はなし
10月 8日			処理開始時刻；11：35	処理時の天候：曇	当日の天候：晴れ時々曇	風の影響はなし
月 日						
月 日						
月 日						

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H28年10月3日							G (無処理)	採取; 12:35 ~ 12:50 天候: 雨	G	6個, 8.0kg G区: 6個, 9.2kg × 1分析 6個, 7.1kg	10月3日
10月15日						F-1		採取; 10:10 ~ 10:20 天候: 晴れ	F	F区: 5個, 9.6kg × 1分析	10月15日
10月16日				D-1				採取; 9:40 ~ 9:50 天候: 晴れ	D	D区: 5個, 12.4kg × 1分析	10月16日
10月17日					E-1			採取; 8:40 ~ 8:50 天候: 晴れ	E	E区: 5個, 9.3kg × 1分析	10月17日
10月18日	A-1	B-1	C-1					採取; 8:45 ~ 9:15 天候: 晴れ	C → B → A	A区: 5個, 8.9kg B区: 5個, 11.1kg × 1分析 C区: 5個, 10.8kg	10月18日
10月20日	A-2	B-2	C-2	D-2				採取; 8:40 ~ 9:50 天候: 曇	D → A → B → C	A区: 5個, 9.2kg B区: 5個, 11.2kg × 1分析 C区: 5個, 11.1kg D区: 5個, 12.3kg	10月20日
10月22日						F-2		採取; 10:10 ~ 10:20 天候: 雨	F	F区: 5個, 10.0kg × 1分析	10月22日
10月24日	A-3	B-3	C-3		E-2			採取; 8:45 ~ 9:40 天候: 晴れ	E → C → B → A	A区: 5個, 9.3kg B区: 5個, 11.3kg × 1分析 C区: 5個, 11.1kg E区: 5個, 8.9kg	10月24日
10月27日				D-3				採取; 8:50 ~ 9:10 天候: 晴れ	D	D区: 5個, 13.2kg × 1分析	10月27日
10月29日						F-3		採取; 9:40 ~ 9:50 天候: 晴れ	F	F区: 5個, 11.1kg × 1分析	10月29日
10月31日					E-3			採取; 8:40 ~ 8:50 天候: 曇	E	E区: 3個, 5.9kg × 1分析	10月31日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H28年10月3日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月15日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月16日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月17日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月18日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月20日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月22日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月27日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月29日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月31日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに未使用のボークスペーパーを敷いた採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・粉すり等の方法、前後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

試料を個別にボークスペーパーで包み、ポリ袋に入れた後、ダンボール箱に入れ梱包した。

破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを敷き、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを貼付けた。緩衝材としてボークスペーパーを使用した。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関： 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

—

気 象 表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温（ 1 時間毎） 降水量：日界 0 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(2 8 年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	気温（施設内温度）																													30.1	29.0	29.3
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																													○		
	区記号（試料番号）																													F		
9	気温（施設内温度）	28.6	28.4	29.0	28.6	26.4	30.1	31.4	29.7	29.2	28.5	29.0	27.3	28.3	26.6	28.1	28.9	27.9	26.4	26.6	23.3	26.1	25.4	27.0	26.7	28.2	28.9	28.1	27.9	28.1	25.6	
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取					○						○									○					○						
	区記号（試料番号）					E、F							B、E、F								A、B、C、D、E、F						A、B、C、D、E、F					
1 0	気温（施設内温度）	28.9	30.4	25.6	27.0	25.8	27.6	25.5	27.2	23.9	22.4	23.3	20.9	19.5	19.0	20.5	21.6	26.7	27.0	23.9	22.8	20.8	19.9	19.7	20.8	22.6	23.7	22.1	19.5	20.2	17.9	18.0
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取			○△					○			○		○		△	△	○△	△		△		△		△			△		△		△
	区記号（処理）			A、B、C、D、E、F					D、F			A、B、C		D				A、B、C														
	試料番号（採取）			G												F-1	D-1	E-1	A-1		A-2		F-2		A-3			D-3		F-3		E-3
	試料番号（採取）																		B-1		B-2				B-3							
	試料番号（採取）																		C-1		C-2				C-3							
	試料番号（採取）																				D-2				E-2							
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。
また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号（送付カードと同様の番号）を当該欄へ記入する。
施設内気温測定には、テータカ（株式会社 ティアンドティ おんどとりTR-71Ui）を使用した。



試験施設



ほ場の様子



8月29日（初回散布）



9月5日



9月12日



9月20日



9月26日



10月3日



10月8日



10月11日



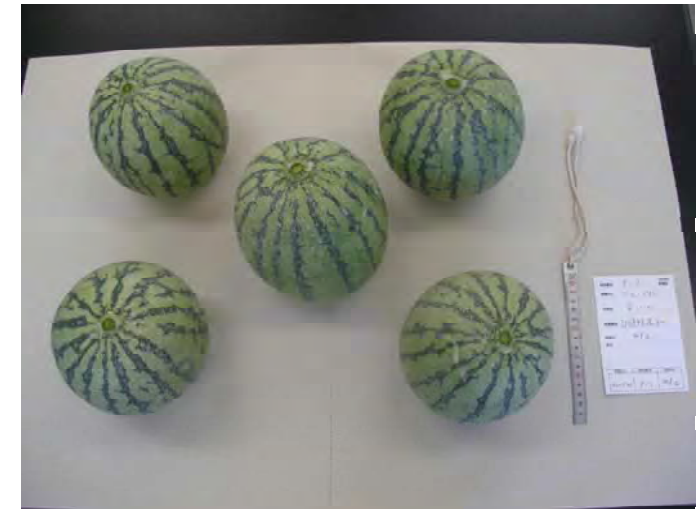
10月13日



10月17日



10月3日（初回採取）



10月15日



10月16日



10月17日



10月18日



10月20日



10月20日



10月22日



10月24日



10月27日



10月29日



10月31日（最終採取）